

- 各委員会がミッションとして活動していくために、2021年度の委員を公募しています。  
委員は、支部委員会規約により、1期2年で2期までを任期としています。  
応募いただける方は、MAILまたはFAXで事務局までご連絡ください。

委員会名	委員長	ミッション・活動内容	募集人員
総務委員会	鈴木 弘樹	支部長・役員会の支部運営方針に従い、事務局運営方針を含む下記の総務を担う。 1. 会員入退会審査と本部総務委員会への上申。 2. 支部予算書、決算書の素案作成の協力及び予算執行状況のチェック。 3. 各恒例行事の設定と運営支援。 4. 支部組織管理。 5. 本部総務委員会との連携 6. 会員増強、支部登録の会員管理 7. その他、支部運営に必要とみとめられるもの	3
広報委員会	市村 宏文	会報誌BulletinとWebサイトを通して、JIA会員はもちろん広く社会に向かって情報発信を担う。 1. 会報誌「Bulletin」の企画編集および発行 2. Webサイトの管理運営および情報発信 3. 会員・一般に向けたメールマガジンの発行 4. 支部サーバーを活用しての委員会・部会・地域会の自主管理サイト開設運営を支援	3
建築相談委員会	小島 孝豊	問題を抱えた市民の相談に応じ、住宅にかかわる種々の問題の解決に努めるという奉仕活動を通じて、安全で安心できる快適な環境を作ることを目指し、さらには一般市民の建築および建築家への共感と理解を求める使命を担う。 1. 社会貢献の一環として一般市民向けの住まいに関して無料相談を幅広く実施。 2. 一般市民向けの住まいに関するシンポジウムの開催	4
保存問題委員会	窪寺 弘行	建築文化の継承のみならず、成熟した都市環境の継承のために、建物の保存・活用や景観の保存に関する、下記の活動を担う。 1. 定例委員会 2. 保存要望書等の提出とその後のフォロー 3. 支部大会への参加協力 4. 建物、景観の継承にかかわる問題の検討 5. 見学会、シンポジウム等の開催 6. 保存再生会議(全国組織)活動への協力 7. 建築学会、建築士会等他団体との連携活動への協力	0
苦情対応委員会	板橋 弘和	JIA会員の行った設計監理等業務(完成した建築物を含む)に関するステークホルダーからの苦情に適切な対応を行うことで、JIA会員及び組織としてのJIAに対する信頼を回復・向上させるための取組みを行います。現在、苦情対応と並行して、より合理的かつ効果的な苦情の受付方法、対応方法についての検討も行っています。	3
建築家資格制度実務委員会	米田 雅夫	登録建築家申込者、更新申請者、再登録申請者の支部窓口として、提出書類審査、更新要件の確認をしたうえで、認定評議会の審査資料の作成を行うことを使命とする。 1. JIA会員は、全員登録という本部方針に則り登録の勧誘と書類審査を行う。 2. 新規登録・更新手続きの開始および締め切りを周知する。	2
都市・まちづくり委員会	近藤 崇	美しく居心地の良い都市環境や景観創りを目指した、都市・まちづくりに関わることから、専門家として進んでコミットしてその職能を発揮していくことを使命とする。 1. 土木分野との協働を軸とした勉強会、シンポジウムの開催 2. 景観・まちづくり協議会等への参加による景観行政支援	5
建築・まちづくり委員会	連 健夫	自然・歴史・文化・地域社会・安全などに配慮した優れた街づくりを目指して、良質の建築物や環境の保存・活用にむけて、市民活動や行政への支援・提言・他団体と連携した都市問題に関する調査研究、日本版CABEに関する調査研究等を実施しています。 1. まちづくり協議会支援/2. 地方自治体の景観行政支援/3. 公共建築物の設計者選定支援/4. 教育・研究/5. 広報	1
災害対策委員会	風戸 宏孝	1.全地域会災害対策担当の選出とWEBによるネットワークの構築 2.災害支援フロー・災害対策活動リストの地域会員への配布と説明 3.支部開催の災害対策に関する公益活動(シンポジウム等)の実施 4.首都圏直下型地震を想定した都・県・自治体の防災活動への協力 5.他の災害対策活動との連携(本部委との調整必要:災害復興支援機構等)	1

委員会名	委員長	ミッション・活動内容	募集人員
環境委員会	長井 淳一	持続可能な環境建築デザインの推進・実践に向けた活動を通し、会員並びに社会に有用な情報を発信していくことを使命とする。まち・歴史・文化・暮らし等の包括・横断的視点、さらにSDGs(国連/持続可能な開発目標)も視野に入れ、活動展開を行う。 1 建築専門家向け、市民向けセミナーの開催 2 環境建築賞受賞作品等の現場見学会 3 環境会議(全国各支部)との連携活動 4 自治体への協力・支援	0
アーバントリップ 実行委員会	佐藤 文人	優れた建築や建築群・ランドスケープ等を対象に、設計者等の解説による建物見学を体験(コロナ禍ではバーチャル体験の試みも)して頂き、プロフェッションとしての技術の研鑽や知識の蓄積を促し、日常の設計計画業務、建築家としての活動を支援する、見学企画運営(2020年92回の実績)を行っております。また、一般の方々にも参加の門戸を開き、建築および建築家(JIA)に関する理解を広めることも使命としております。自ら率先して見学企画の立案、運営等に興味のある方、大歓迎です。	1
建築セミナー 実行委員会	小堀 哲夫	人の生きる環境の形を決める建築家は、常にその社会的責任に対する意識を新たに、技量の継続的向上に努めなければなりません。建築家とは、「なる」ものではなく、むしろ「なり続ける」努力によって成立する職能なのです。日本の建築教育はほとんど大学に任されており、また、その期間が限られているため、建築家としての意見と見識を養うためには基だ不十分です。そして、卒業して一旦社会に出ると、自己研鑽を積み続ける機会に恵まれないのが通例です。そうした状況に鑑み、私たちは会員及び会を支援して下さる各界の知的リーダーたちの蓄積を、建築家への道を歩み始めた若い方々に受け渡し、建築家に「なり続ける」機会の一つを提供するために「建築セミナー」を開設しました。	0
JIAトーク 実行委員会	椎名 英三	年四回、建築以外の分野で活躍されているの方々の講演を企画開催している。映画監督、指揮者、プロダクトデザイナー、ジャズピアニスト、作家、詩人などがたの講演が過去行われてきている。(協賛は日新工業株式会社) 建築以外の分野の話や聞く事によって、JIA会員には、刺激やあらたな発想に結びつくような研鑽の機会になること、将来建築界での活躍を期待する学生たち、あるいは、他分野の方がたや近隣の方々にも参加していただくことで、JIAの活動を知ってもらう機会となるのがJIAトークのミッションとなっている。	0
学生デザイン 実行委員会	松村 哲志	東京都内に所在する大学の卒業生を対象に、卒業設計コンクールを主催しています。例年5月に開催されるコンクールの為の審査委員の選定から、当日の運営、参加作品をまとめた冊子作りを主な活動内容としています。 将来のJIA会員になりうる学生に向けた「顔」として様々な交流がある委員会です。	0
大学院修士設計 展実行委員会	日野 雅司	支部内の建築や建築関連の大学や大学院生と連携・協力した、修士設計の意義と発展を考え、また大学間の交流の場づくりを目指し下記活動を担う。 1. Web上の「大学院修士設計展」に加え、パネル展示と模型展及び大学教員によるシンポジウムの開催 2. 審査員によるコンペティションとし優秀作品の表彰	0

事務局 大西まで MAIL mohnishi@jia.or.jp または、FAX03-3408-8294 にて 応募ください。

**応募締切 2021年2月18日(木)**

下記委員会委員に応募いたします(希望委員会の□に✓を付けてください)

会員番号

氏名

連絡先(MAILまたはFAX)

- 総務委員会       広報委員会       建築相談委員会       苦情対応委員会  
 建築家資格制度実務委員会       都市・まちづくり委員会       建築・まちづくり委員会  
 災害対策委員会       アーバントリップ実行委員会